

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

古北千赤古内島中矢野熊藤小安田寺矢岸八多村宮林泉山
米里葉川川島山本野村本井島田尻田次田波田島部田新新清嘉
誠正留孝義榮克秋丈文盛義壯清芳睦英三新新信
市吉吉郎彦郷巳人喬夫登助長明一藏滿衛止夫臣八吉信

(各通)

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

上樋黑橋澤友藤佐伊義寺三郡瀬間西山高青太早橋三高前
野口住住田信澤藤地田崎瀬山戸宮井本橋木田田本川川橋兵
熊滑幾正田信一藤正地知利七又重四千拾義一常角龍利兵
彦美郎助孟孝三郎一滿郎次雄郎七幸賞之男基次郎喜昌太郎

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

村松 茂生 岩元 德薰 法盛 利治 岡利 藤夫 的場 吉一 金丸 信十 加藤 廉一 中村 義治 井原 義治 佐々木 太郎 小池 忠平 吉川 忠雄 福田 榮次 岡崎 榮次 山本 盛久 梅澤 盛雄 久保 友藏 一島 榮之松 吉元 喜彦 村川 藏助 佐々木 重太郎 種子田 高位 小西 茂雄 木下 保直 位田 仙太郎

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

村上 道雄 外山 善藏 三川 留作 立川 善義 加藤 義茂 松田 清登 渡邊 泰清 塩田 祐吉 中野 昌三 松井 一雄 村嶋 昌二 丸田 一 岡村 豐一 西村 照一 篠崎 惣一 若崎 長吉 松崎 外吉 今下 信次 近藤 治一 原田 良一 非關 市雄 元川 通一 蛇川 岩太 宮地 鐵治 村上 源七 村上 鐵藏

任海軍豫備兵曹長

海軍豫備一等機關兵曹

中沼力平

同 同

通難長光重山安向影作板上稻佐田東山之有堀半加佐
 山波岡永松本川山田本羽田中內馬多田藤々
 泰小留良將一信人三夫二吉平宰勇夫一吉人郎郎雄進
 三太吉熊一信人三夫二吉平宰勇夫一吉人郎郎雄進

同 同

勳六等

六六四

田中近清岡太西吉三平磯西渡藤胡石木藤水吉白福尾須井
 村澤藤水島田山田宅田野浦邊本妻橋村本牧原井島崎藤上
 理一藤貞玉和拓賢正保久代數太正三郎重實亮郎次郎吉助
 郎次男亭郎壯郎二質正彌郎義一雄

(各通)

同 同

上坂梶中平岡木種濱大富小内高河木下松前上宮西榎
 田西本田谷原下山田原藤柳原下野本田森越村本
 重登喜敏品喜丈良虎之季繁清永敬大猷惣次治次吉吉平吉雄
 次光代明一郎郎隆助季雄水清太郎之次吉平吉夫

同 同

吉野玉柳島大渡田白津岡鶴洲黑畑細中江小金山東江中川谷
 武村置原田門邊原木田丸脇川川村島松山山原村谷口
 猛米勇林德喜福直虎安朝熊昇一修三隆帝調啓樹清國
 夫治郎壹郎郎男輔亨甫雄夫太猛一修郎弘一平二生治雄

同	田中 太祐
同	東石 嘉一
同	佐々 隆
同	尾下 重太
同	木下 正一
同	若林 徳男
同	小島 繁一
同	黒田 俊彦
同	神村 節次郎
同	中谷 藤比祐
同	細野 胡雄
同	石川 貢
同	中村 與一郎
任海軍豫備機關兵曹長	住山 長平
海軍屬兼海軍書記勳七等	
免本官專任海軍書記	
給三級俸	
任海軍屬兼海軍書記	海軍書記 九島 政治
給六級俸	
任海軍書記	富永 貞一郎
給六級俸	
任海軍書記	長島 源太郎
給九級俸	

兼任海軍錄事

海軍書記 米本 明

東京帝國大學助教授 大山 松次郎

海軍大學校ニ於ケル電氣工學教授囑託ヲ解ク 三木 太一郎

海軍兵學校ニ於ケル教授囑託ヲ解ク(以上前記海軍省)

海軍主計中佐 桑久保 俊次

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

海軍省經理局附ヲ命ス 海軍屬 九島 政治

海軍艦政本部附海軍書記 住山 長平

大湊要港部附ヲ命ス

海軍艦政本部附ヲ命ス 同 九島 政治

舞鶴要港部附ヲ命ス 同 富永 貞一郎

同 長島 源太郎

佐世保海軍經理部附ヲ命ス

同 海軍錄事 米本 明

吳鎮守府軍法會議附ヲ命ス

東京帝國大學助教授 山下 英男

海軍大學校ニ於ケル電氣工學教授ヲ囑託シ報酬月額

六拾圓ヲ贈與ス(以上前記同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第二十五驅逐隊司令ハ六月二十九日司令驅逐艦ヲ樞ヨ
リ樞ニ變更セリ

○郵便物發送先變更 (四月八日)
軍艦淀宛 (本欄参照)
當分ノ間 佐世保

○郵便物發送先變更 (六月十四日)
特務艦青島宛 (本欄参照)
七月 四 日迄ニ到達見込ノモノハ 鎮 鎮
同 十三 日迄ニ 同 鎮 南
同 十七 日迄ニ 同 佐 浦
同 二十 日迄ニ 同 吳 世
同 二十三 日迄ニ 同 德 保
其ノ後ハ 横 須 賀 山

○艦船所在

指△印ハハハハ
定ヲ要セズ

○七月一日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

▷磐手、淺間

▷峯風、澤風、矢風、沖風、▷灘風、島風、

夕風、汐風、▷朝風、春風、松風、旗風、

▷楠、梅、▷榊、松、杉、柏、磯波

▷呂一、▷呂二、▷呂三、▷呂二二、

▷呂二〇、▷呂二一、▷呂五八、▷呂五七、

▷呂五九、▷伊三、▷伊二四、▷伊二一、

▷伊二三

▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

▷富士、尻矢

(妙高)、(伊五九)

【浦賀】(嚴島)

▷波風

▷大泊

▷才ハ

▷佐多

▷神風

▷霧島

▷伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

▷那智、韓崎

▷江風、谷風、菊、葵、▷海風、山風、檜、

▷榎

▷呂二、▷呂五二、▷呂五三、▷呂五一、

▷呂二七、▷呂二八、▷呂二六、▷呂一四、

▷呂一五、▷呂一六、▷呂一八、▷呂一七、

▷呂一九、▷呂五六、▷呂五四、▷呂五五、

▷伊六一、▷伊五二、▷伊五一

▷掃一二

▷野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、神威、

▷能登呂

(伊五七)

(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【神戶】熱海

▷白鷹

▷江田内

▷宇和島

▷勝利

▷濱風、天津風、時津風、磯風

▷日向、山城、▷由良、長良、名取、

▷神通、▷迅鯨、▷赤城、鳳翔、▷榛名、

▷比叡、▷衣笠、加古、古鷹、青葉、▷鬼怒、

▷長鯨

▷吳竹、若竹、早苗、早蕨、▷萩、薄、藤、葛、

▷芙蓉、刈萱、朝顔、夕顔、▷葦、菱、菫、

▷帆風、羽風、秋風、▷吹雪、白雲、初雪、

▷深雪、▷東雲、濃雲、薄雲、白雲、▷望月、

▷菊月、三日月、夕月

▷呂六〇、▷呂六一、▷呂六二、▷呂六五、

▷呂六六、▷呂六七、▷伊二、▷伊一、▷伊五五、

▷伊五三、▷伊五四、▷伊五六、▷伊五八、

【細島】_△ 木刀風
 【舞鶴】_△ 吾妻
 呂運、麥、蓬
 呂二五
 (敷波)
 【二見】_△ 多摩
 【佐世保】_△ 若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、球磨、嵯峨、羽黒、常磐
 桐、櫻、橘、樺、水無月、阜月、文月、長月、追風、疾風、朝風、夕風、如月、睦月、彌生、卯月、櫻、浦波
 呂二、呂三一、呂二四、呂二三、呂三、呂四、呂五、呂六八、呂六三、呂六四、呂三〇、呂二九、呂三二、伊六三
 敷島、襟裳、知床、鳴戸
 (伊六〇)
 【基隆】_△ 榆、柿
 【高雄】_△ 榊、栗
 【鎮海】_△ 榊、梨、竹、樅
 青島
 【所安港】_△ 大和
 【兼浦】_△ 淀
 【旅順】_△ 桑、楨、椿
 【青島】_△ 木會、對馬
 【上海】_△ 矢矧、墾田、勢多
 桃、柳
 【南京】_△ 檉
 【燕湖】_△ 檉

【九江】_△ 鳥羽
 【漢口】_△ 利根
 浦風、隅田
 【長沙】_△ 安宅、隅田
 【沙市】_△ 比良
 【宜昌】_△ 伏見
 【重慶】_△ 保津
 【汕頭】_△ 北上
 【廣東】_△ 宇治
 【廣東】_△ 滿州
 【作樂地】_△ 膠州
 【航海中】_△ 膠州
 隱戸 (六月二十五日「オ」發—徳山へ)
 五十鈴、桂、楓、伊二二 (六月二十七日横須賀發—館山へ)
 鶴見 (六月二十七日「ホ」發—徳山へ)
 洲崎 (六月二十七日「マ」發—徳山へ)
 早鞆 (六月二十八日「オ」發—徳山へ)
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一 (六月二十九日吳發—伊豫灘へ)
 室戸 (六月二十九日横須賀發—吳へ)
 高崎 (六月二十九日徳山發—横須賀へ)
 春日 (六月三十日海豹島發—稚内へ)
 野風 (六月三十日根室發—最寄へ)
 沼風 (六月三十日大湊發—堪察加へ)
 長門 (一日館山發—横須賀へ)
 天龍 (一日益田發—杵築へ)

(部内限二頁)

海軍公報

第七百三十七號

昭和四年七月二日(火)
海軍大臣官房

○ 通牒

軍務第二六五號ノ二
○ 昭和四年七月二日

海軍省軍務局長

各鎮守府、要港部
第二艦隊 參謀長殿

汽船「トロール」漁業ニ關スル件通牒

汽船「トロール」漁業者株式會社林兼商店所有「トロール」汽船ヲ漁獲物運搬ニ使用方願出ニ對シ左ノ通許可アリタル旨農林省水産局長ヨリ通知有之候

記

- 一、使用船舶 第七明治丸
- 一、使用期間 自昭和四年六月二十五日 至同 年八月三十日
- 一、使用場所 下關、城津、清津間
- 一、使用者 株式會社林兼商店

海軍公報 第七百三十七號 昭和四年七月二日

○ 辭令

第三部勤務ヲ命ス(前海軍艦政本部)
海軍中佐 田村 能介

○ 雜款

○司令驅逐艦變更
第十一驅逐隊司令ハ六月二十九日司令驅逐艦ヲ吹雪ヨリ初雪ニ、第二十四驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ一時樫ヨリ檜ニ孰モ變更セリ

○ 軍艦勝力行動豫定

地名	着	發
吳松	六月三十日	六月二十九日
岩島	七月四日	七月四日
宇和	六月四日	六月六日
白杵	六月六日	六月七日
吳地	七月七日	七月七日

六七二

○軍艦熱海行動豫定

地名	着	發
玉	七月三日	七月三日
吳	五日	五日
宮	七日	六日
佐世保	七日	七日

○郵便物發送先

軍艦勝力宛	日迄ニ到達見込ノモノハ	愛媛縣岩松
七月三日	日迄ニ	宇和島
同 五日	日迄ニ	吳
其ノ後ハ		

軍艦熱海宛

七月 四	日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
其ノ後ハ		佐世保

○事務所撤去
 軍艦熱海艦裝具事務所ヲ三井物産株式會社造船部玉工場内ニ設置中ノ處六月三十日撤去セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○七月二日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、長門、五十鈴

▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽灘風、島風、夕風、沙風、▽朝風、春風、松風、旗風、▽楠、梅、▽柳、松、杉、柏、桂、楓、磯波

▽呂一〇、▽呂一一、▽呂一二、▽呂一三、▽呂二二、▽呂二〇、▽呂二一、▽呂二八、▽呂二七、▽呂二九、伊三、▽伊二四、伊二一、伊二二、伊二三

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢

(妙高)、(伊五九)

【浦賀】

波風

【大湊】

大泊

【雅内】

春日

【留別】

野風

【才八】

佐多

【堪察加】

▽神風

【吳】

霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、那智、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、榴

板

▽呂一、▽呂二、▽呂三、▽呂四、▽呂五、▽呂六、▽呂七、▽呂八、▽呂九、▽呂一〇、▽呂一一、▽呂一二、▽呂一三、▽呂二二、▽呂二〇、▽呂二一、▽呂二八、▽呂二七、▽呂二九、伊三、▽伊二四、伊二一、伊二二、伊二三

野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、神威、室戸

(伊五七)

【神戶】(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【岩松】熱海

【江田内】大井

【宇和島】勝力

▽濱風、天津風、時津風、磯風

▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一

▽神通、▽迅鯨、▽赤城、風翔、▽榛名、比叡、▽衣笠、加古、古鷹、青葉、▽鬼怒

▽長鯨

▽吳竹、若竹、早苗、早蕨、▽萩、薄、藤、葛、芙蓉、刈萱、朝顔、夕顔、▽葦、菱、菫、菫、帆風、羽風、秋風、▽初雪、吹雪、白雲、深雪、▽東雲、叢雲、薄雲、白雲、▽望月、菊月、三月月、夕月

▽呂六〇、▽呂六一、▽呂六二、▽呂六五

海軍公報 第七百三十七號 昭和四年七月二日

六七三

【青島】	▷木曾、對馬	【芝罘】	▷木曾、對馬	【旅順】	▷木曾、對馬	【木浦】	▷木曾、對馬	【鎮海】	▷木曾、對馬	【高雄】	▷木曾、對馬	【基隆】	▷木曾、對馬	【伊六〇】	▷木曾、對馬	【敷島】	▷木曾、對馬	【呂三〇】	▷木曾、對馬	【呂三二】	▷木曾、對馬	【呂三三】	▷木曾、對馬	【呂三四】	▷木曾、對馬	【呂三五】	▷木曾、對馬	【呂三六】	▷木曾、對馬	【呂三七】	▷木曾、對馬	【呂三八】	▷木曾、對馬	【呂三九】	▷木曾、對馬	【呂四〇】	▷木曾、對馬	【呂四一】	▷木曾、對馬	【呂四二】	▷木曾、對馬	【呂四三】	▷木曾、對馬	【呂四四】	▷木曾、對馬	【呂四五】	▷木曾、對馬	【呂四六】	▷木曾、對馬	【呂四七】	▷木曾、對馬	【呂四八】	▷木曾、對馬	【呂四九】	▷木曾、對馬	【呂五〇】	▷木曾、對馬	【呂五一】	▷木曾、對馬	【呂五二】	▷木曾、對馬	【呂五三】	▷木曾、對馬	【呂五四】	▷木曾、對馬	【呂五五】	▷木曾、對馬	【呂五六】	▷木曾、對馬	【呂五七】	▷木曾、對馬	【呂五八】	▷木曾、對馬	【呂五九】	▷木曾、對馬	【呂六〇】	▷木曾、對馬	【呂六一】	▷木曾、對馬	【呂六二】	▷木曾、對馬	【呂六三】	▷木曾、對馬	【呂六四】	▷木曾、對馬	【呂六五】	▷木曾、對馬	【呂六六】	▷木曾、對馬	【呂六七】	▷木曾、對馬	【呂六八】	▷木曾、對馬	【呂六九】	▷木曾、對馬	【呂七〇】	▷木曾、對馬	【呂七一】	▷木曾、對馬	【呂七二】	▷木曾、對馬	【呂七三】	▷木曾、對馬	【呂七四】	▷木曾、對馬	【呂七五】	▷木曾、對馬	【呂七六】	▷木曾、對馬	【呂七七】	▷木曾、對馬	【呂七八】	▷木曾、對馬	【呂七九】	▷木曾、對馬	【呂八〇】	▷木曾、對馬	【呂八一】	▷木曾、對馬	【呂八二】	▷木曾、對馬	【呂八三】	▷木曾、對馬	【呂八四】	▷木曾、對馬	【呂八五】	▷木曾、對馬	【呂八六】	▷木曾、對馬	【呂八七】	▷木曾、對馬	【呂八八】	▷木曾、對馬	【呂八九】	▷木曾、對馬	【呂九〇】	▷木曾、對馬	【呂九一】	▷木曾、對馬	【呂九二】	▷木曾、對馬	【呂九三】	▷木曾、對馬	【呂九四】	▷木曾、對馬	【呂九五】	▷木曾、對馬	【呂九六】	▷木曾、對馬	【呂九七】	▷木曾、對馬	【呂九八】	▷木曾、對馬	【呂九九】	▷木曾、對馬	【呂一〇〇】	▷木曾、對馬
------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	--------

(部内限ナシ)

海軍公報 第七百三十八號

昭和四年七月三日(水)
海軍大臣官房

通牒

官房第二三六四號ノ二

昭和四年七月三日

海軍省副官

各廳長殿

支那新國旗ニ關スル件申進

支那國民政府公布ノ中華民國國徽國旗法譯文左ノ通外
務次官ヨリ當省次官宛通牒有之候條御了知相成度

記

中華民國國徽國旗法 十七年十二月十七日

第一條 中華民國ノ國徽ヲ青天白日ト定ム其ノ樣式左

ノ如シ

一、青地圓形

二、白日

三、白光芒十二道

四、白日ト十二道光芒間ニ青地圈ヲ留ム

第二條 前條第一款ヨリ第四款ニ至ル位置及尺度比例
左ノ如シ

一、青地圓形ノ圓心ハ白日體ノ圓心ト爲ス

二、白日體ノ半徑ト青地圓形半徑トノ比ハ一對三ト
ス

三、白日體圓心ヨリ白光芒ノ頂角ニ至ル長サト白日
體ノ半徑トノ比ハ二對一トス

四、白日ト十二道白光芒間ノ青地圈ノ廣サハ白日體
直徑ノ十五分ノ一トス

五、每道白光芒ノ頂角ハ三十度トス十二角合計三百
六十度トス

六、上下左右白光芒頂角ハ北、南、東、西ニ向ヒ共
ノ他ハ平均ニ分排ス

第三條 中華民國ノ國旗ハ紅地ヲ用ヒ其ノ横ト縦トノ
比ハ三對二トス

第四條 旗桿寄リ上方隅ヲ青色長方形トシ其ノ横ト縦
トハ紅地横縦ノ二分ノ一トス

海軍公報 第七百三十八號 昭和四年七月三日

六七五

第五條 青色長方形中ニ國徽上ノ白日、青地圈（白日體ト白光芒間ノ青地圈ヲ指ス）及十二道光芒ヲ置ク長方形ノ横縱平方線ノ交點ヲ白日體ノ圓心トス
白日體ノ半徑ト青色長方形ノ横ノ長サハ一ト八トノ比トス

青圈ト十二道光ノ位置及尺度比例ハ第二條第三款乃至第六款ノ規定ヲ準用ス

第六條 旗桿上ニ紅色圓頂ヲ置ク

第七條 國旗ノ定式ハ商旗ニモ適用ス

第八條 本法ハ公布ノ日ヨリ施行ス

○訓令

海軍省出仕海軍大尉 森川 秀也

海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ（請海軍大臣）

○辭令

海軍屬 九島 政治

第一課附ヲ命ス（請海軍省經理局）

○雜款

○司令驅逐艦變更
第九驅逐隊司令ハ本月二日司令驅逐艦ヲ一時桑ヨリ楨ニ變更セリ

○出發

英國 海軍機關少佐 佐伯 甚七
七月二十日 門司發 諏訪丸

○艦船所在

▲印ハ六ホフ
指定ヲ要セズ

○七月三日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

長門、五十鈴

▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽濠風、島風、

夕風、沙風、▽朝風、春風、松風、旗風、

▽楠、梅、▽榊、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一一、呂一二、呂一三、▽呂二二、

呂二〇、呂二一、▽呂五八、呂五七、

呂五九、伊三、▽伊二四、伊二一、

伊三二、伊二三

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、高崎

(妙高)、(伊五九)

浦賀(嚴島)

下田▽掃六

大湊波風

大泊

稚内春日

才心佐多

【塘察加】▽神風

霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、檜、

板

呂一、呂五二、▽呂五三、呂五一、

▽呂二七、呂二八、呂二六、▽呂一四、

呂一五、呂一六、▽呂一八、呂一七、

呂一九、▽呂五六、呂五四、呂五五、

伊六一、▽伊五二、伊五一

掃一二

野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、室戸

(伊五七)

【神戶】(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【玉】熱海

【德山】隱戸

【宇和島】▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一

【白杵】▽濱風、天津風、時津風、磯風

【佐伯】▽陸奥、日向、山城、▽由良、長良、名取、

▽神通、▽迅鯨、▽赤城、鳳翔、▽榛名、

比叡、▽衣笠、加古、古鷹、青葉、▽鬼怒、

▽長鯨

▽吳竹、若竹、早苗、早蕨、▽萩、薄、藤、葛、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、夕顔、▽葦、菱、菫、

▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽初雪、吹雪、

白雪、深雪、▽東雲、叢雲、薄雲、白雲、

▽望月、菊月、三月月、夕月

▽呂六〇、呂六一、呂六二、▽呂六五、

▽呂六六、呂六七、▽伊二、伊一、▽伊五五、

海軍公報 第七百三十八號 昭和四年七月三日

六七七

【舞鶴】

伊五三、伊五四、伊五六、伊五八
間宮、能登呂
呂二五
呂三五

【境】

天龍

【新瀨】

多摩

【佐世保】

若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、
球磨、嵯峨、羽黒、常磐

長月、追風、疾風、朝風、夕風、如月、
臨月、彌生、卯月、櫻、浦波

呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、
呂九、呂十、呂十一、呂十二、呂十三、呂十四、
呂十五、呂十六、呂十七、呂十八、呂十九、呂二十、
呂二十一、呂二十二、呂二十三、呂二十四、呂二十五、
呂二十六、呂二十七、呂二十八、呂二十九、呂三十、
呂三十一、呂三十二、呂三十三、呂三十四、呂三十五、
呂三十六、呂三十七、呂三十八、呂三十九、呂四十、
呂四十一、呂四十二、呂四十三、呂四十四、呂四十五、
呂四十六、呂四十七、呂四十八、呂四十九、呂五十、
呂五十一、呂五十二、呂五十三、呂五十四、呂五十五、
呂五十六、呂五十七、呂五十八、呂五十九、呂六十、
呂六十一、呂六十二、呂六十三、呂六十四、呂六十五、
呂六十六、呂六十七、呂六十八、呂六十九、呂七十、
呂七十一、呂七十二、呂七十三、呂七十四、呂七十五、
呂七十六、呂七十七、呂七十八、呂七十九、呂八十、
呂八十一、呂八十二、呂八十三、呂八十四、呂八十五、
呂八十六、呂八十七、呂八十八、呂八十九、呂九十、
呂九十一、呂九十二、呂九十三、呂九十四、呂九十五、
呂九十六、呂九十七、呂九十八、呂九十九、呂一百

敷島、襟裳、知床、鳴戸

伊六〇

【馬】

公榎、栗

【基】

榎、柿、梨、竹、樅

【鎮】

海樺、梨、竹、樅

【木】

浦和、大和

【旅】

順樺

【龍】

口樺、桑

【青島】

對馬

【上海】

矢矧、壁田、勢多

【南京】

檜

【漢口】

鳥羽、利根

【沙市】

浦風

【宜昌】

岡田

【重慶】

伏見

【汕頭】

北見

【廣東】

宇治

【作樂地】

滿州

【航海中】

膠州

【鶴見】

六月二十七日「ホノルル」發「徳山」

【洲崎】

六月二十七日「マニラ」發「徳山」

【早鞆】

六月二十八日「オハ」發「徳山」

【沼風】

六月三十日大湊發「塘察加」

【碧手】

淺間「一日横須賀發」「ホノルル」

【淀】

一日兼二浦發「赤崎」

【木曾】

二日青島發「龍口」

【勝力】

二日宇和島發「豊後水道」

【野風】

二日岩松發「豊後水道」

(部内限二頁)

海軍公報 第七百三十九號

昭和四年七月四日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房第二三八五號

昭和四年度歳出科目左ノ通追加ス

昭和四年七月三日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略號
水陸整 備費	病院設 備費	積須賀病 院設備費	初度調 辨費			ソム
震災復 舊費	(軍需品共 他復舊費)					
	(軍需品)					
	港用品					ツノ
	(水路其他 特用品)					

○通 牒

軍務第二六八號ノ二

昭和四年七月四日

海軍省軍務局長

各鎮守府、要港部 參謀長殿
第一、第二艦隊

汽船「トロール」漁業ニ關スル件通牒

汽船「トロール」漁業者博多「トロール」株式會社ヨ
リ同漁業取締規則第六條第一項ノ規定ニ依リ其ノ所有
ニ係ル左記「トロール」汽船五隻ノ漁獲物陸揚港ヲ下
關、博多及戸畑港ニ變更許可出願ニ對シ七月一日許可
シ許可證ヲ訂正交付セル旨農林省水産局長ヨリ通知有
之候

記

許可番號 船名

應用品

ツコ

海軍公報 第七百三十九號 昭和四年七月四日

六七九

- 第一博多丸
- 第二博多丸
- 第三博多丸
- 第六博多丸
- 第七博多丸

○辭令

○昭和四年七月三日

(各通)

瀨口 太
田島 悅郎

任海軍技手
給七級俸

海軍義濟會囑託海軍大佐 清宮 善高
海軍省人事局ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但部内限奏任官待遇トス(前海軍省)

(各通)

海軍技手 瀨口 太
同 田島 悅郎

海軍燃料廠附ヲ命ス(請同)

(各通)

海軍屬 石村 始吉
海軍書記兼海軍屬 小幡 政義

電信課勤務ヲ命ス(留海軍大臣官房)
海軍大尉 森川 秀也
電信課勤務ヲ命ス(請同)

○雜款

○着任、退廳
昨日財部海軍大臣着任、同日岡田前海軍大臣退廳

○歸朝
水路部長海軍少將米村末喜歐洲へ出張中ノ處本月二日歸朝

(水路部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○七月四日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

長門、五十鈴

▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽濰風、島風、

夕風、沙風、▽朝風、春風、松風、旗風、

▽楠、梅、▽檜、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、高崎

(妙高)、(伊五九)

浦賀(巖島)

下田、掃六

大湊、波風

大泊

厚岸、野風

才、佐多

【堪察加】▽神風

霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井、熱海

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、檜、

楓

呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

海軍公報 第七百三十九號 昭和四年七月四日

六八一

1467

【舞鶴】 間宮、能登呂 呂二五 呂二五 （敷波）	【新境】 多摩 天龍 （敷波）	【佐世保】 若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、 球磨、嵯峨、常磐 桐、櫻、橋、樺、水無月、卓月、文月、 長月、追風、疾風、朝風、夕風、如月、 陸月、羽生、卯月、櫻、浦波 呂二、呂三一、呂三四、呂三三、呂三、 呂四、呂五、呂六八、呂六三、呂六四、 呂三〇、呂二九、呂三一、伊六三 敷島、襟裳、知床、鳴戸 （伊六〇）	【鎮海】 榎、梨、竹、樅 青島	【旅順】 樺	【青島】 對馬	【上海】 矢矧、堅田、勢多 桃、柳	【南京】 櫻
--------------------------------------	--------------------------	---	-----------------------	-----------	------------	-------------------------	-----------

【燕湖】 檜	【九江】 鳥羽	【漢口】 安宅、利根	【長沙】 隅田	【沙市】 比良	【宜昌】 伏見	【重慶】 保津	【汕頭】 北上	【廣東】 宇治	【巴拉オ】 滿州、膠州
-----------	------------	---------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----------------

【航海中】 鶴見 洲崎 早鞆 沼風 磐手 淀 神威 春日 羽黒 檜、柿 大和 室戸 隱戸 木曾 掃一二	（六月二十七日）「ホノルル」發「徳山」へ） （六月二十七日）「マニラ」發「徳山」へ） （六月二十八日）「オハ」發「徳山」へ） （六月三十日）大湊發「堪察加」へ） （一日）横須賀發「ホノルル」へ） （一日）兼二浦發「亦崎」へ） （二日）吳發「オハ」へ） （三日）稚内發「舞鶴」へ） （三日）佐世保發「宇和島」へ） （三日）基隆發「馬公」へ） （三日）木浦發「佐世保」へ） （三日）吳發「佐世保」へ） （三日）徳山發「吳」へ） （四日）龍口發「太清」へ） （四日）吳發「佐伯」へ）
--	--

（部内限二頁）

海軍公報 第七百四十號

昭和四年七月五日(金)
海軍大臣官房

○辭令

(各) 三笠保存會囑託海軍大佐 津留 雄三
(通) 同 同 石原 北夫

海軍省事務ヲ囑託ス

但部内限奏任官待遇トス(七海軍省)

海軍少將 河野 董吾

海軍學生銓衡委員ヲ命ス(附同)

○雜款

○佛艦「アルゴール」來航豫定

地名 着 發

仁 川 七月十一日 七月十七日

釜 山 十九日 二十二日

○米國四十五驅逐隊所屬軍艦來航豫定

横 濱 七月十六日ヨリ同二十二日迄

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自六月十六日 至同 二十二日)

	ベスト		コレラ		痘瘡	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者
タ マ タ プ		一		二		
ア デ ン					一〇	六
バ グ ダ ッ ド		七				
バ ス ラ					一	
パ セ イ ン		一				
孟 買		三七			三六	二七
カ ル カ ッ タ			五七		八	七
カ ラ チ					一〇	七
マ ド ラ ス					二八	八

海軍公報 第七百四十號 昭和四年七月五日

六八三

摘要「ボンチャナク」ハ報告未着	大連	廣東	厦門	上海	香港	西貢、シヨロン 輸入	ブナンベン	盤谷	マカツサル	コロンボ	ウキザガバタム	ソチコリン	蘭貢	ネガバタム
										一			二	
										一			三	
		五	三			五五	二	九				一五		
		三				四九		五				一〇	三	
	四	六			四		二		五		二			一
	一			二	一				四		一			

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○七月五日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

長門、五十鈴

▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽灘風、島風、

夕風、沙風、▽朝風、春風、松風、旗風、

▽楠、梅、▽榊、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、

呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、

呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、

呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、

呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、

呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、

呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、

呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、

呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、

呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、

呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、

呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、

呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、

呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、

呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、

呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、

呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

呂一〇五、呂一〇六、呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

呂一〇五、呂一〇六、呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

呂一〇五、呂一〇六、呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

呂一〇五、呂一〇六、呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

呂一〇五、呂一〇六、呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、

呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、呂一〇三、呂一〇四、

【堪察加】▽神風

霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井、熱海

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、檜

栴、呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、

呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、

呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、

呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、

呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、

呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、

呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、

呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、

呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、

呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、

呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、

呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、

呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、

【浦賀】(嚴島)

富士、尻矢、高崎

(妙高)、(伊五九)

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

掃六、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一

掃一二、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一九、掃二〇、掃二一、

掃二二、掃二三、掃二四、掃二五、掃二六、

掃二七、掃二八、掃二九、掃三〇、掃三一、

掃三二、掃三三、掃三四、掃三五、掃三六、

掃三七、掃三八、掃三九、掃四〇、掃四一、

掃四二、掃四三、掃四四、掃四五、掃四六、

掃四七、掃四八、掃四九、掃五〇、掃五一、

掃五二、掃五三、掃五四、掃五五、掃五六、

掃五七、掃五八、掃五九、掃六〇、掃六一、

掃六二、掃六三、掃六四、掃六五、掃六六、

掃六七、掃六八、掃六九、掃七〇、掃七一、

掃七二、掃七三、掃七四、掃七五、掃七六、

掃七七、掃七八、掃七九、掃八〇、掃八一、

掃八二、掃八三、掃八四、掃八五、掃八六、

掃八七、掃八八、掃八九、掃九〇、掃九一、

掃九二、掃九三、掃九四、掃九五、掃九六、

掃九七、掃九八、掃九九、掃一〇〇、掃一〇一、

掃一〇二、掃一〇三、掃一〇四、掃一〇五、掃一〇六、

掃一〇七、掃一〇八、掃一〇九、掃一一〇、掃一一一、

【舞鶴】 間宮、能登呂
吾妻▲

呂二五
區遼、蓼、蓬

【敷波】

【境】 天龍▲
【佐世保】 若宮、夕張、川内▲、駒橋、出雲、龍田、
球磨、嵯峨、常磐

區桐、櫻、橘、樺、區水無月、阜月、文月、
長月、區追風、疾風、朝風、夕風、區如月、
睦月、彌生、卯月、穆

呂二、呂三一、區呂二四、呂二三、呂三、
呂四、呂五、區呂六八、呂六三、呂六四、
區呂三〇、呂二九、呂三二、伊六三

敷島▲、襟裳▲、知床、鳴戸、室戸、大和
(伊六〇)

【馬公】 區梅、栗、榆、柿

【鎮海】 區榎、梨、竹、樅

【旅順】 樺
【大沽】 區木曾
區榎

【龍口】 桑

【青島】 對馬
【上海】 矢矧、堅田、勢多
桃、柳

【南京】 檉

【燕湖】 區檜
【九江】 區鳥羽
區安宅、利根

【長沙】 區隅田
區比良

【重慶】 區伏見
區北津

【汕頭】 區保津
區北津

【廣東】 區膠州
區北津

【航海中】
【早鞆】 區德山
區堀察加

【曙手】 區舞鶴
區直江津
區橫須賀
區大湊
區堀察加

【春日】 區舞鶴
區直江津
區橫須賀

【多摩】 區直江津
區橫須賀

【浦波】 區豐後水道
區吳

【青島】 區鎮南浦
區大湊

【野風】 區鎮南浦
區大湊

(部内限ナシ)

海軍公報

第七百四十一號

海軍大臣官房

昭和四年七月六日(土)

○雜款

○驅逐艦浦波行動豫定

地名 着

佐世保

吳

横須賀

七月五日

十二月

七月

四月十日

○特務艦青島行動豫定變更(六月十四日)

地名 着

鎮南浦

鎮

佐世保

吳

德山

横須賀

七月七日

七月十五日

七月十七日

七月二十日

七月二十五日

七月

四月十日

七月十二日

七月十六日

七月十九日

七月二十二日

○郵便物發送先

驅逐艦浦波宛

共ノ後ハ

七月九日迄ニ到達見込ノモノハ

吳

横須賀

○郵便物發送先變更(六月二十九日)

軍艦羽黒宛

七月八日迄ニ到達見込ノモノハ

同 十一日迄ニ

同 十四日迄ニ

同 十六日迄ニ

同 十九日迄ニ

同 二十二日迄ニ

同 二十七日迄ニ

共ノ後ハ

愛媛縣三津濱

香川縣津田

神戶

德島縣小松島

高知縣須崎

鹿兒島

長崎

佐世保

○及後會規則第六條ニ依リ財部大將ニ代ハリテ竹下大將及後會會長ニ就任セラレタリ

海軍公報 第七百四十一號 昭和四年七月六日

六八七

○艦船所在

△印△ハホフ
指定ヲ要セズ

○七月六日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、鏡摩、日進、加賀、金剛、八雲、

長門、五十鈴

▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽灘風、島風、

夕風、沙風、▽朝風、春風、松風、旗風、

▽楠、梅、▽柳、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、

呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、

呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、

呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、

呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、

呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、

呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、

呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、

呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、

呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、

呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、

呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、

呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、

呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、

呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、

呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、

呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、

呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、

呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、

呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、

呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、

呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、

呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、

呂九九、呂一〇〇、呂一〇一、呂一〇二、

呂一〇三、呂一〇四、呂一〇五、呂一〇六、

呂一〇七、呂一〇八、呂一〇九、呂一一〇、

【堪察加】沼風、神風

【吳】霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、檜、

榎、浦波

呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、

呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、

呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、

呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、

呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、

呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、

呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、

呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、

呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、

呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、

【神戶】

(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【宮島】

熱海

【德山】

洲崎、早鞆

【宇和島】

白鷹、勝力

【別府】

▽濱風、天津風、時津風、磯風

【佐伯】

▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一

【羽黒】

▽長鯨

▽日向、山城、▽由良、長良、名取、

▽神通、▽迅鯨、▽赤城、鳳翔、▽榛名、

▽比叡、▽衣笠、加古、古鷹、青葉、▽鬼怒、

▽吳竹、若竹、早苗、早巖、▽萩、薄、藤、葛、

▽芙蓉、刈萱、朝顔、夕顔、▽葦、菱、菫、

▽太刀風、帆風、羽風、▽初雪、吹雪、白雪、

▽深雪、▽東雲、叢雲、薄雲、白雲、▽望月、

▽菊月、三月月、夕月

▽呂六〇、呂六一、呂六二、▽呂六五、

▽呂六六、呂六七、▽伊二、伊一、▽伊五五、

▽伊五三、伊五四、▽伊五六、伊五八

【細島】 掃一二
 間宮、能登呂
 【舞鶴】 秋風
 吾妻
 呂二五
 呂二五
 (敷波)
 天龍
 【賀露】 多摩
 【直江津】 若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、
 球磨、嵯峨、常磐
 【佐世保】 長月、追風、疾風、朝風、夕風、如月、
 睦月、彌生、卯月、櫻
 呂二、呂三一、呂二四、呂二三、呂三、
 呂四、呂五、呂六八、呂六三、呂六四、
 呂三〇、呂二九、呂三一、伊六三
 敷島、襟裳、知床、大和
 (伊六〇)
 【馬公】 北上
 呂梅、栗、榆、柿
 【鎮海】 榎、竹、樅
 【釜山】 梨
 【旅順】 椏
 【大沽】 木曾
 【塘沽】 榎

【青島】 對馬
 【上海】 矢矧、堅田、勢多
 【南京】 櫻桃
 【燕湖】 檜
 【九江】 烏羽
 【漢口】 安宅、利根
 【長沙】 浦風
 【沙市】 比良
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 保津
 【廣東】 宇治
 【巴拉オ】 膠州
 【航海中】 鶴見 (六月二十七日、ホノルル「發」徳山へ)
 磐手、淺間 (一日横須賀「發」ホノルルへ)
 神威 (二日吳「發」オハへ)
 春日 (三日稚内「發」舞鶴へ)
 滿州 (四日「發」横須賀へ)
 佐多 (四日「發」オハへ)
 青島 (四日鎮海「發」キヌヤへ)
 淀 (五日赤崎「發」佐世保へ)
 柳 (五日上海「發」佐世保へ)
 染 (五日龍口「發」大沽へ)
 鳴戸 (五日佐世保「發」佐伯へ)
 室戸 (五日佐世保「發」舞鶴へ)

(部内限ナシ)

豫約募集會告

外務省勤務 水田稻穂 著

幕末に於ける我海軍と和蘭 全一冊

四六版約二百頁、寫眞數集入
實價 米 凡 參 冊

多年蘭國に在りて、蘭語に精通する著者が日本に關する文献を涉獵の際、幕末海軍に於ける各般の珍文書を手したるにその端を發し、帝國海軍の黎明期に現はれたる未發表事實の多くを知ることを得たるが、著者は乃ち隨て得れば隨て譯し、積んで一書を成すに至れるもの即ち本書にして、今その事實に就き一例を擧ぐれば、幕府の備蘭人たる教師某が主として旗下の士たる選抜學生(勝海舟その他の名士を含む)を教育せるに就ての本國政府への報告書の如き、邦人に對して忌憚なき觀察點を詳述する等、其の趣味の津々たる一たび繕けば巻を徹ふこと能はざらしむ。苟くも身を海軍籍に置く者須らく此の創設期に於ける帝國海軍史の何たるやを識り、今日帝國が世界大海軍國の一に列するに至れることの偶然ならざる所以を覺知するの必要あるべきを信じて疑はず。敢て此の豫約募集に應ぜられんことを勸告するもの也。

尙海軍省教育局の所見に據れば、行文平易、資料豊富、叙事の順序亦能く整ひ、一讀徳川幕府海軍建設當時の状況を偲ぶを得べく、洵に近時稀に見るの佳著にして、幕府が開國に方り屢々和蘭の忠告を受けたること、海軍建設に際し和蘭に艦船を註文せること、並に海軍學術を和蘭海軍より傳習せること等の経緯に就ては、既に勝伯著『海軍歴史』中に詳述せられあるも、本書には右等事項に關連して、長崎駐在の和蘭領事官より東印度總督に稟請せる文書、又は在長崎和蘭海軍教官と本國當局者との往復文書、その他日本海軍練習生に對する批判、或は當時に於ける和蘭政府當局の政策とも見るべき文書をも收載したり。要するに『海軍歴史』は單に海軍歴史なる題下に於て之を爲したれば、其の記事の範圍も自ら限局せられたるならんも、本書はそれ以上に互りて、我海軍創設當時の狀態と和蘭國が之に關して如何なる貢獻を爲せしか、又如何なる意嚮或は政策を有せしか等の事相を窺知せしむるを得るは欣ぶべきなりと。

一、應募期限

昭和四年七月末日

一、出版期

昭和四年八月中旬頃

一、豫約者に限り實價の一割引とす。

一、出來次第豫約者に發送す到着の上は代金を拂込まれたし。

一、豫約部數少きときは取止めとなすことあるべし。

追て豫約部數一千部るときは金一回二十錢以内、五百部なるときは金一回四十錢以内となる見込。

昭和四年七月

日

東京市芝區榮町十三番地(水交社内)

財團 有

終 會

電話芝(料)二四五七番
振替東京三三〇二番

【御参考の爲め本書の見本刷一枚を添付す】

「幕末に於ける我海軍と和蘭」の内容見本刷

日本人は定に輕佻な國民である。日本人は佛蘭西人に酷似してゐる。極端に快活で、愉快さうであるが、盤根錯節に屈しないで、素志を貫徹すると云ふ忍耐力に缺けてゐる。海軍將校の養成と云ふことは決して一朝一夕に出来るものではない。殊に日本人には純正科學的教育と云ふものが缺けてゐる。敏捷と云ふ天賦の徳が惠まれて居る彼等には、比較的短少な時間に、只皮相的觀念を掴むだけの智識を吸収することは困難なしに出来さうだが、一旦其の好奇心の満足を得るや、彼等の眼は忽ち他の物に注がれるのである。尤も日本は許多の有爲なる人材を輩出した。而して其等の人々は驚異に値する幾多の功業を成し、それに就てはフオン・シーボルトの如きは殊に佳良なる證言を與へてゐる。予は是等有爲の人材の功業を逸視するものではない。幕府の留學生の外、地方諸藩の留學生中にも、或者等はその勤勉振に於て、朋輩より嶄然頭角を現はし、此等の生徒に對しては十分なる期待を寄せ得るものであつた。予が曩に餘り芳しからぬ批評を加へたのは勿論概括的に之を述べたもので、旗本の武士等が長崎に派遣せられたときの餘衡の理由も、只其の社會的

1477

地位が高いと云ふに基因し、彼等を以て日本の發達ある階級を代表するものとは認められない。寧ろ、出島に笈を負うて來集した醫學生、諸藩の典醫及一部の通詞等こそ、日本の發達ある階級と認むべきで、就中薩州の老臣松本洪庵の如きは、未だ曾て蘭人と交際したることなくして、然も正確なる蘭文を認めたるものである。

予は私かに思ふに、予が許に派遣せられた留學生の大部分は只修業の略に重職に拔擢せられん爲の金箔を附けに來たものではなからうか。只其の極く少數の者だけが生涯海軍軍人として身を立てようと覺悟してゐたに相違ない。現に古參の留學生の中多數の者は既に行政其の他海軍とは何等交渉なき諸種の官職に就いて居るに徴しても、其の一斑を窺ひ得らるゝであらう。一例を挙げんに、飽ノ浦にて優秀なる生徒たりし某機關將校候補生は忽然長崎在の牧羊場監視となつたと云ふことを耳にしたが、其の牧場の羊は残らず斃死したと云ふことだ。之れ少しも怪しむに足らざることである。此の種の任命の行はるゝことは日本では敢て珍らしきことではなく、又之が大抵の場合官位昇進と伴ふので、受命者も寧ろ

海軍公報

第七百四十二號

昭和四年七月八日(月)
海軍大臣官房

通牒

官房第二四二九號

昭和四年七月八日

海軍次官

各廳長殿

恩給年加算ノ件通牒

昭和三年四月十九日ヨリ同年十一月十五日ニ至ル間支那事變並ニ擾亂ニ關スル勤務ニ従事シタル左記公務員ニハ昭和四年内閣告示第三號ニ依リ恩給年ヲ加算スル者ハ到着ノ日ヲ始期トシ十一月十五日以前該地ヲ去リタル者ハ出發ノ日ヲ終期トス)セラルルコトトシ取扱相成度

記

- 一 第一、第二遣外艦隊司令部(特別陸戰隊ヲ含ム)ニ屬シタル者
- 二 球磨、對馬、常磐、第一九桑、第一〇檜、第一一樺、第一二松、第一三櫻、第一四蓮、第一五古鷹、第一六龍登呂、第一七春日、第一八室戸、第一九隱戸、

海軍公報 第七百四十二號 昭和四年七月八日

四

右以外ニシテ海軍大臣ニ於テ功績アリト認メタル者

(本號該當者ニ關シテハ追テ通牒ス)

(參照)

○内閣告示第三號

公務員ノ在職年ニ付恩給法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ戰爭ニ準ズベキ事變ノ期間、地域及職務ノ範圍並ニ第三十三條第一項ノ規定ニ依リ加算ヲ爲スベキ擾亂ノ地域及期間左ノ通牒ヲ經タリ
昭和四年六月二十七日
内閣總理大臣男爵 田中 義一

六九一

1479

從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件

昭和三年四月十九日ヨリ七月十日ニ至ル期間ニ滿州ヲ除クノ外交郡及其ノ沿海ニ在リテ今次ノ支那事件ニ從軍シタル公務員ニ對シテ恩給法第三十二條第一項第一號及同條第二項ノ規定ニ依ル加算ヲ爲シ又内國ニ在リテ直接支那派遣部隊ニ關スル勤務ニ從事シ功績アリタル公務員ニ對シテ同條第一項第二號及同條第二項ノ規定ニ依ル加算ヲ爲ス

昭和三年五月十八日ヨリ八月三十日ニ至ル期間ニ滿州ニ在リテ又ハ同年七月十一日ヨリ十一月十五日ニ至ル期間ニ滿州ヲ除クノ外交郡及其ノ沿海ニ在リテ危險ヲ顧ミズ其職務ヲ以テ勤務シタル公務員ニ對シテ恩給法第三十三條第一項ニ規定スル外國擾亂地勤務ノ加算ヲ爲ス

恩給法抄録

第三十二條第一項及第二項

公務員其ノ職務ヲ以テ從軍シタルトキハ左記各號ノ規定ニ依リ加算ス

一 戰地ニ在リテ職務ニ服シタルトキハ從軍期間ノ一月ニ付三月

二 戰地外ニ在リテ職務ニ服シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付一月半

前項ノ規定ハ公務員其ノ職務ヲ以テ戰爭ニ準スヘキ事變ニ際シ職務ニ服シタル場合ニ付テ之ヲ準用ス

第三十三條第一項

公務員外國ノ交戦又ハ擾亂ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミス其ノ職務ヲ以テ勤務シタルトキハ在勤期間ノ一月ニ付二月ヲ加算ス

恩給法施行令抄録

第十二條 恩給法第三十二條第一項第一號ノ規定ニ依リ從軍加算ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ同法第四十條第

二項ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ例ニ依ル
一 戰爭開始後戰地ニ到リタル者ニ付テハ戰地ニ到ルヘキ事山ノ生シタル當時所在スル地ノ屬スル地域ヲ離レタル月ヨリ加算ス
二 戰爭中戰地ヨリ歸還シタル者ニ付テハ其ノ歸還スヘキ地ノ屬スル地域ニ到著シタル月迄加算ス
前項ノ地域トハ内地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋羣島及之ニ準スヘキ外國ノ地區ヲ謂フ
恩給法第三十二條第一項第二號ノ規定ニ依リ從軍加算ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ同法第四十條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ例ニ依ル
一 動員(之ニ準スルモノヲ含ム)部隊ニ編入セラレタル者ニ付テハ編入ノ月、動員(之ニ準スルモノヲ含ム)下令前ヨリ其ノ部隊ニ在リタル者ニ付テハ其ノ下令ノ月ヨリ加算ス
二 戰爭開始後職務ニ服スヘキ地ニ到リタル者及戰爭中其ノ地ヨリ歸還シタル者ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス
前三項ノ規定ハ恩給法第三十二條第二項ノ規定ニ依ル加算ニ付テ之ヲ準用ス

恩第一二八號

昭和四年七月八日

海軍省人事局

關係各廳御中

履歷書記註方ノ件通知

官房第二四二九號ヲ以テ恩給年加算ノ件通牒相成候處
右ニ關シ該當者ノ履歷書丙又ハ履歷表ニハ
恩給年加算
敘勳年加算

調書(追テ配付セラルベキ公報附)ニ依リ相當記入
現ニ當該所轄者ニ付テハ現所ヲ爲シ其ノ旨履歷書正本ノ保管應ニ御通
 報(通知ノコト)恩第一八號ニ依ル通報ノ旨附記ノコト)相成度
(下)様式大正十四年恩第六三號ニヨル)

恩第一一九號

昭和四年七月八日

海軍省人事局長

各廳長殿

支那事件ニ關スル出張員ノ件照會

昭和三年四月十九日ヨリ同年十一月十五日ニ至ル間支
 那事件ニ關スル用務ヲ以テ同國ニ出張シタル者アラバ
 左記ニ依リ御通知相成度

記

- 一 職官・氏名 最終ニ内地ヲ出發シタル月日及地名、支那
 初ニ内地降着ノ月日及地名、最
- 二 發着月日及地名 初ニ内地降着ノ月日及地名、最
- 三 用務ノ概要

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第一驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ神風ヨリ沼風
 ニ變更セリ

海軍公報 第七百四十二號 昭和四年七月八日

○軍艦龍田行動豫定

地名	着	發
佐世保	七月十四日	七月十三日
福世岡	七月十六日	七月十六日
佐世保	七月十八日	七月十八日
名護屋	七月十九日	七月十九日
佐世保	七月十九日	七月十九日

○特務艦早瀬行動豫定

地名	着	發
德山	七月二十一日	七月十三日
德山	八月二日	七月二十六日
鹿川	八月五日	八月五日
佐世保	八月八日	七月七日

○英艦來航豫定

地名	着	發
長崎	七月八日	七月十五日迄
鎮南浦	七月十七日	七月二十二日迄
釜山	七月八日	七月十二日迄
木浦	七月十三日	七月十六日迄
鎮南浦	七月十七日	七月二十二日迄
セラフイス	七月十七日	七月二十二日迄
鎮南浦	七月十七日	七月二十二日迄

六九三

○郵便物發送先

軍艦龍田宛

七月十五日 日迄ニ到達見込ノモノハ

同 十七日迄ニ 同

其ノ後ハ

佐世保 福岡 佐世保

特務艦早鞆宛

七月十二日 日迄ニ到達見込ノモノハ

八月 四日 日迄ニ 同

其ノ後ハ

徳山 徳山郵便局留置 佐世保

○着任、退廳

本月六日矢吹海軍政務次官、粟山海軍參與官着任、同日内田前海軍政務次官退廳

○ 艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セス

○七月八日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

五十鈴

区峯風、澤風、矢風、沖風、区濑風、島風、

夕風、沙風、区朝風、春風、松風、旗風、

区楠、梅、区榊、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一一、呂一二、呂一三、呂二二、

呂二〇、呂二一、区呂五八、呂五七、

呂五九、伊三、区伊二四、伊二一、

伊二二、伊二三

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、高崎

(妙高)、(伊五九)

【浦賀】(駿島)

【下田】区掃六

【清水】長門

【大湊】波風、野風

大泊

【塘察加】区沼風

佐多

【吳】霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井、白鷹、勝力

区江風、谷風、菊、葵、区海風、山風、栢、

榎、区濱風、天津風、時津風、磯風、浦波

呂一、呂五二、区呂五三、呂五一、

呂二七、呂二八、呂二六、区呂一四、

呂一五、呂一六、区呂一八、呂一七、

呂一九、区呂五六、呂五四、呂五五、

伊六一、区伊五二、伊五一

区掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一二

野島、劍崎、攝津、石原、朝日、隠戸

(伊五七)

【神戶】(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【德山】早鞆

【三津濱】羽黒

【佐伯】区陸奥、日向、山城、区由良、長良、名取、

区神通、区迅鯨、区赤城、風翔、区榛名、

比叡、区衣笠、加古、古鷹、青葉、区鬼怒、

区長鯨

区若竹、吳竹、早苗、早蕨、区萩、薄、藤、葛、

区夕顔、朝顔、芙蓉、刈萱、区葎、菱、菫、

区太刀風、帆風、羽風、区初雪、自雪、深雪、

吹雪、区東雲、叢雲、薄雲、白雲、区望月、

菊月、三月月、夕月

区呂六〇、呂六一、呂六二、区呂六五、

呂六六、呂六七、区伊二、伊一、区伊五五、

伊五三、伊五四、区伊五六、伊五八

掃一二

<p>【細島】 間宮、龍登呂、鳴戸 【舞鶴】 吾妻、春日 呂二五 (敷波) 【宮津】 天龍 【直江津】 多摩 【佐世保】 若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、 球磨、嵯峨、常磐、淀、熱海 区桐、櫻、橘、樺、区水無月、皐月、文月、 長月、区追風、疾風、朝風、夕風、 区如月、睦月、彌生、卯月、櫻、柳 呂二、呂三一、区呂二四、呂二三、呂三、 呂四、呂五、区呂六八、呂六三、呂六四、 区呂三〇、呂二九、呂三一、伊六三 敷島、襟裳、知床、大和 (伊六〇)</p>	<p>【馬公】 北上 区榆、柿、栗、梅 【鎮海】 区榎、梨、竹、樅 【鎮南浦】 青島 【旅順】 樺 【大沽】 木會 区榎 桑 【塘沽】 桑</p>
<p>【青島】 對馬、勢多 【上海】 桃 【南京】 檜 【蕪湖】 烏、利、根、勾 【九江】 利、根、勾 【漢口】 浦、利、根、勾 【長沙】 隅、田 【沙市】 比、良 【宜昌】 伏、見 【重慶】 保、津 【碭石】 宇、治 【巴州】 膠、州 【航海中】 鶴見 (六月二十七日「ホノルル」發—徳山へ) 淺間 (一日「横須賀發」—「ホノルル」へ) 磐手 (二日「吳發」—「オハ」へ) 滿州 (四日「バラオ」發—「横須賀」へ) 神威 (五日「佐世保發」—「舞鶴」へ) 室戸 (七日「漢口發」—「上海」へ) 安宅 (七日「上海發」—「南京」へ) 堅田 (七日「堪察加發」—「大泊」へ) 神風 (七日「徳山發」—「オハ」へ) 洲崎</p>	

(部内限二頁)

海軍公報

第七百四十三號

海軍大臣官房

昭和四年七月九日(火)

通牒

官房第二二二三號ノ四

昭和四年七月九日

海軍次官

吳鎮守府參謀長殿
第一、第二艦隊參謀長殿

外國船アラワ號内地不開港場寄港ノ件

通牒

外國船アラワ號内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀交付相成候

第六八號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 アラワ號
- 二、國籍 英國
- 三、種類 帆船
- 四、船主氏名及國籍 英國人エヌ、ビー、モートン

海軍公報 第七百四十三號

昭和四年七月九日

- 一、船長氏名及國籍 木下傳次郎
- 二、噸數 十九噸
- 三、橋數 二本
- 四、網具ノ裝置 ケツ子
- 五、回航ノ目的 娛樂
- 六、航路 大阪灣ヨリ瀬戸内海ヲ經テ大分縣各沿岸ニ至ル
- 七、寄港地名
 - 兵庫縣 志筑、假屋、岩屋、那家、西ノ宮、住吉、須磨、舞子、明石、高砂、飾磨、室津、那波、坂越、坊勢島、家島、西島
 - 大阪府 堺、岸和田、佐野、貝塚
 - 岡山縣 日生、片上、長島、牛窓、岡山、宇野、日比、下津井、大島、長尾、鹿久居島、大多府島、黒崎、笠岡、眞鍋島、北木島、白石島、福島
 - 香川縣 小豆島、志度、坂出、高松、多度津、粟島

六九七

廣島縣 福山、鞆、松永、百島、尚島、因ノ島、

瀬戸田、川尻、大崎下島、大崎上島、

宮島

愛媛縣 新居濱、岩城島、伯方島、大島、大三島、

三津濱

山口縣 上ノ關、室津、室積、三田尻、中ノ關、

屋代島

大分縣 別府、守江、姫島

但シ軍港要港規則又ハ要塞地帯法ニ依リ禁止又

ハ制限セラレタル地域ヲ除ク

右不開港場へ寄港ヲ許可ス

本免狀有効期間ハ昭和四年七月四日ヨリ昭和五年七

月三日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄港

ヲ差止ムルコトアルヘシ

昭和四年七月四日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ

各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ

二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ

検査ヲ受クヘシ

三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ

表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘ

カラス

四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ

直ニ此ノ免狀ヲ取消スヘシ

五、此ノ免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免狀ヲ取消サレタ

ルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ

六、出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必

要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ

教育第二八六號

昭和四年七月六日

海軍省 教育局

海軍各艦御中

天業民報寄附ノ件通牒

今回天業民報社ヨリ同社發行ノ日本國體學通俗講座連

載週刊巴雷號寄附方申出有之候處一般精神教育資料ト

シテ有益ノモノト認メ左記ノ通發送方取計置候條各司

令部ニ於テ關係各部へ配布方可然御配慮相成度

記

一、各鎮守府及要港部所屬艦船及軍港要港境域内ニ在

ル陸上海軍各部ノ分
 各鎮守府要港部毎ニ民報社ヨリ一括直送
 二、第一、第二艦隊ノ分
 概ネ戰隊毎ニ取纏メ教育局ヨリ送付
 三、獨立艦隊ノ分
 各基本部ヘ教育局ヨリ送付
 四、軍港要港境域外ニ在ル陸上海軍各部
 各部ヘ教育局ヨリ送付

○辭令

故海軍一等船匠兵富山滿父 富山 牛松
 昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス
 (特海軍省)

○雜款

○司令驅逐艦變更
 第二十六驅逐隊司令ハ六月二十九日司令驅逐艦ヲ一時
 梅ヨリ楡ニ變更セリ

○驅逐艦柳行動豫定
 地 名 着

上 海 七月五日
 佐 世 保 七月六日

○特務艦洲崎行動豫定

地名	着	發
横須賀	八月二十一日	八月十四日
徳山	九月四日	八月二十六日
徳山	九月六日	九月六日
鹿川	九月九日	九月九日
鹿川	九月十二日	九月十二日
横須賀	九月十四日	九月十二日

○郵便物發送先

軍艦嵯峨宛
 自今 長崎郵便局氣付(軍艦郵便)

驅逐艦柳宛
 當分ノ間 佐世保

特務艦洲崎宛
 八月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
 九月十日迄ニ同 徳山
 其ノ後ハ 横須賀

海軍公報 第七百四十三號 昭和四年七月九日

六九九

○艦船所在

指[△]印^ハハ^ホホ^フ
指^定ヲ^要セ^ズ

○七月九日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

五十鈴

區峯風、澤風、矢風、沖風、區灘風、島風、夕風、沙風、區朝風、春風、松風、旗風、區楠、梅、區柳、松、杉、柏、桂、楓、磯波

呂一一、呂一二、呂一三、呂一三、呂二〇、呂二一、呂五八、呂五七、呂五九、伊三、區伊二四、伊二一、伊二二、伊二三

伊二二、伊二三、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、高崎

(妙高)、(伊五九)

【浦賀】(嚴島)

【下田】區掃六

【清水】長門

【大湊】波風、野風

【才】神威

【瑞察加】區沼風

【吳】霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、那智、韓崎、大井、白鷹、勝力

區江風、谷風、菊、葵、區海風、山風、檜、

海軍公報 第七百四十三號 昭和四年七月九日

榎、區濱風、天津風、時津風、磯風、浦波

呂一、呂五二、區呂五三、呂五一、呂二七、呂二八、呂二六、區呂一四、呂一五、呂一六、區呂一八、呂一七、呂一九、區呂五六、呂五四、呂五五、區伊五三、伊五一

區掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一二

野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、隱戸

(伊五七)

【神戶】(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【德山】早鞆

【佐伯】區陸奥、日向、山城、卜由良、長良、名取、卜迅鯨、卜榛名、比叡、卜鬼怒

區若竹、吳竹、早苗、早蕨、區葦、薄、藤、葛、區夕顔、朝顔、芙蓉、刈萱、區葦、菱、菫、區初雪、白雪、深雪、吹雪、區東雲、叢雲、薄雲、白雲、區望月、菊月、三月月、夕月、區呂六〇、呂六一、呂六二、區呂六五、呂六六、呂六七

問宮、鳴戸

【舞鶴】吾妻

區蓮、蓼、莖

呂二五

(敷波)

【宮津】天龍

天龍

天龍

天龍

天龍

天龍

天龍

天龍

天龍

【直江津】多摩
 【佐世保】若宮、夕張、川内、駒橋、山雲、龍田、
 球磨、常磐、淀、熱海
 桐、櫻、橘、樺、水無月、阜月、文月、
 長月、追風、疾風、朝風、夕風、
 如月、睦月、彌生、卯月、櫻、柳
 呂二、呂三一、呂二四、呂三三、呂三、
 呂四、呂五、呂六八、呂六三、呂六四、
 呂三〇、呂二九、呂三二、伊六三、
 敷島、襟裳、知床、大和
 (伊六〇)
 【有明灣】衣笠、加古、古鷹、青葉
 【馬公】北上
 榆、柿、栗、榊
 【鎮海】榧、梨、竹、樅
 【鎮南浦】青島
 【旅順】椿
 【青島】對馬
 【上海】勢多
 桃
 【南京】堅田
 櫻
 【蕪湖】檜
 【九江】烏羽
 【漢口】利根
 浦風

【長沙】陽田
 【沙市】比良
 【宜昌】伏見
 【重慶】保津
 【巴拉オ】膠州
 【航海中】
 鶴見 (六月二十七日「ホノルル」發—徳山へ)
 磐手、淺間 (一日横須賀發—「ホノルル」へ)
 滿州 (四日「巴拉オ」發—横須賀へ)
 安宅 (七日漢口發—上海へ)
 神風 (七日塘察加發—大泊へ)
 洲崎 (七日徳山發—「オハ」へ)
 春日 (八日舞鶴發—徳山へ)
 嵯峨 (八日佐世保發—上海へ)
 矢矧 (八日上海發—漢口へ)
 宇治 (八日碓石灣發—「バイアス」灣へ)
 木曾、榧、桑 (八日大沽發—營口へ)
 伊六一 (八日吳發—神戸へ)
 伊二、伊一、伊五五、伊五三、伊五四、伊五六、
 伊五八、龍登呂 (八日佐伯發—有明灣へ)
 掃二 (八日佐伯發—吳へ)
 室戸 (八日舞鶴發—西戸崎へ)
 佐多 (八日塘察加發—徳山へ)
 羽黒 (九日三津濱發—津田灣へ)
 神通、長鯨、赤城、鳳翔、太刀風、帆風、
 羽風、秋風 (九日佐伯發—有明灣へ)

(部内限一頁)

海軍公報

第七百四十四號

海軍大臣官房

昭和四年七月十日(水)

○通牒

海人第二五四號ノ二

昭和四年七月十日

海軍省人事局

關係各廳御中

職員錄原稿ニ關スル件照會

本件ニ關シ去月三日海人第二五四號(六月三日)ヲ以テ照會致シ置候處本年ニ限リ八月一日現在ヲ以テ調製ノコトニ變更ノ旨通知有之候條左記御承知ノ上御送付相成度

記

- 一、原稿到達期日ヲ八月五日ニ變更
- 一、既ニ調製送付済ノ分ハ當局ニ於テ廢棄ス
- 一、様式相違ノ向アリ特ニ注意相成度

○辭令

○昭和四年七月十日

任海軍技手

給四級俸

任海軍技手

給十一級俸

德山源次郎

大井上博

海軍主計中佐 桑久保俊次

兵食研究調査委員會委員ヲ命ス

海軍技手 德山源次郎

横須賀鎮守府附兼横須賀海軍航空隊附ヲ命ス

海軍艦政本部附ヲ命ス 同 大井上博

海軍燃料廠ニ於ケル燃料研究業務囑託

住本誠治

自今部内限奏任官待遇トス

自今報酬年額千四百圓ヲ給ス

景平一雄

海軍燃料廠ニ於ケル潤滑油ニ關スル研究業務ヲ囑託

ス

海軍公報 第七百四十四號 昭和四年七月十日

七〇三

但報酬年額千四百圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス
(以上請海軍省)

海軍技師 淡近 越夫
電氣研究部勤務ヲ命ス(請海軍技術研究所)

○雜款

○總代

天皇陛下來十二日神奈川縣葉山へ行幸ニ付勅、委任官
總代トシテ東京驛ニ於テ奉送スベキ旨左記諸官ニ訓令
セラレタリ

勅任官總代 海軍藥劑少將 磯野 周平
委任官總代 海軍大佐 毛 内 効

○軍艦五十鈴行動豫定

地名	着	發
横須賀	七月十三日	七月十五日
勝浦	七月十三日	七月十五日
小名濱	七月十五日	七月二十二日
女川	七月二十二日	七月二十五日
釜石	七月二十五日	七月二十七日
横須賀	七月二十八日	

○郵便物發送先
軍艦五十鈴宛

七月十二日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
同 二十一日迄ニ	福島縣小名濱
同 二十四日迄ニ	同
同 二十六日迄ニ	宮城縣女川
其ノ後ハ	岩手縣釜石
	横須賀

○郵便物發送先變更(六月三日
本欄参照)
特務艦室戸宛

八月三日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
同 八日迄ニ	同
其ノ後ハ	横須賀
	吳

○通信

東京海軍無線電信所ニ於テ測量用無線報時ノ發信ヲ本
年七月十日ヨリ八月三十一日迄毎日(日曜日ヲ除ク)
午後十一時ヨリ七分間實施ス
(大正十二年八月十三日海軍公報(部内限)参照)

○改名

海軍大尉田中豊吉ハ健介ト改名ノ旨六月二十五日届出
デタリ

○海軍會計法規類集中正誤
一、中卷三四頁第十四表糧食品類額表中「火酒七勺以
内」ハ「火酒六勺以内」ノ誤
二、下卷三二九頁契約擔任區分表中要港部工作部ノ項

契約擔任官ノ欄「要港部經理部長」ハ「經理部長」ノ誤

(海軍省 經理局)

海軍公報 第七百四十四號 昭和四年七月十日

七〇五

1492

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○七月十日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、

五十鈴

【峯風、澤風、矢風、沖風、灘風、島風、

夕風、汐風、朝風、春風、松風、旗風、

【楠、梅、榊、松、杉、柏、桂、楓、磯波、

呂一〇、呂一一、呂一三、呂二二、

呂二〇、呂二一、呂五八、呂五七、

呂五九、伊三、伊二四、伊二一、

伊二二、伊二三

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、高崎

【浦賀】(嚴島)

(妙高)、(伊五九)

【下田】掃六

【清水】長門

【大湊】波風、野風

大泊

【才】神威

【堪察加】沼風

【吳】霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、

那智、韓崎、大井、白鷹、勝力

【江風、谷風、菊、葵、海風、山風、檜、

榎、濱風、天津風、時津風、磯風、浦波

呂一、呂五三、呂五三、呂五一、

呂二七、呂二八、呂二六、呂一四、

呂一五、呂一六、呂一八、呂一七、

呂一九、呂五六、呂五四、呂五五、

呂五二、伊五一

【掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、

野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、隱戸

(伊五七)

【神戶】伊六一

(足柄)、(伊四)、(伊六二)

【津田】羽黒

春日

【德山】早瀬

【佐伯】鬼怒

【東雲、叢雲、漣雲、白雲、望月、菊月、

三月月、夕月

呂六〇、呂六一、呂六二、呂六五、

呂六六、呂六七

【舞鶴】吾妻

【遠、夢、蓬

呂二五

(敷波)

【宮津】天龍

【直江津】多摩

【佐世保】

若宮、夕眠、川内、駒橋、出雲、龍田、
球磨、常磐、淀、熱海

△桐、櫻、橘、樺、△水無月、阜月、文月、
長月、△追風、疾風、朝風、夕風、

△如月、睦月、彌生、卯月、櫻、柳

△呂二、呂三一、△呂二四、呂二三、呂三、

△呂四、呂五、△呂六八、呂六三、呂六四、

△呂三〇、呂二九、呂三一、伊六三

敷島、襟裳、知床、大和

【有明灣】

△伊六〇、
口陸奥、日向、山城、△由良、長良、名取、
△神通、△迅鯨、△衣笠、加古、古鷹、青葉、

△長鯨

△若竹、吳竹、早苗、早蕨、△萩、薄、藤、葛、

△夕顔、朝顔、芙蓉、刈萱、△葦、菱、菫、

△初雪、白雪、深雪、吹雪

△伊二、伊一、△伊五五、伊五三、伊五四、

△伊五六、伊五八

能登呂

【馬公】

北上

△榆、柿、栗、梅

△榎、梨、竹、縱

【鎮南浦】

青島

【旅順】

樺

【營口】

△木曾

【青島】

△榎、桑

【上海】

對馬

【勢多】

勢多

【南京】

桃

【漢口】

利根

【九江】

鳥羽

【沙市】

比良

【宜昌】

伏見

【重慶】

保津

【パイアス灣】

宇治

【巴拉オ】

膠州

【航海中】

鶴見 (六月二十七日)「ホノルル」發—徳山(へ)

瀧間 (一日)横須賀發—「ホノルル」(へ)

滿州 (四日)「巴拉オ」發—横須賀(へ)

△安宅 (七日)漢口發—上海(へ)

神風 (七日)徳山發—大泊(へ)

洲崎 (七日)徳山發—「オハ」(へ)

嵯峨 (八日)上海發—漢口(へ)

矢矧 (八日)上海發—西戸崎(へ)

室戸 (八日)舞鶴發—徳山(へ)

佐多 (八日)堪察加發—徳山(へ)

比叡、△赤城、鳳翔、△太刀風、帆風、羽風、

秋風、間宮 (九日)佐伯發—有明灣(へ)

鳴戸 (九日)佐伯發—佐世保(へ)

海軍公報 第七百四十五號

昭和四年七月十一日 (木) 海軍大臣官房

○通牒

海人第二八九號

昭和四年七月十一日

海軍省人事局長

各廳長 殿

外國勳章佩用願ニ關スル件通知

外國勳章佩用願規則第二條ニ依リ賞勳局總裁へ差出スベキ佩用願書ニ添付スベキ勳記譯文及受勳理由書ハ自今寫各壹通ヲ海軍省人事局ニ送附相成度

○辭令

内閣技手 田村 滯穂

海軍省事務ヲ囑託ス(請海軍省)

海軍主計中尉 青山 久二

驅逐艦檢ニ於ケル經費支拂ノ爲第一遣外艦隊臨時分

任出納官吏ヲ命ス(請海軍省經理局支出官)

○雜款

○軍艦五十鈴行動豫定中變更(七月十日)

軍艦五十鈴行動豫定中「女川」ヲ「塩釜」ニ變更ス

○特務艦早輪行動豫定變更(七月八日)

地名	着	發
徳山	七月二十一日	七月十三日
オハ	八月二日	二十六日
徳山	八月五日	八月五日
鹿川	八月八日	七月五日
徳山	八月十日	七月九日
佐世保		

○郵便物發送先

軍艦對馬宛
七月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ青島
八月三日迄ニ同 旅 順

海軍公報 第七百四十五號 昭和四年七月十一日

七〇九

其ノ後ハ

青 島

○郵便物發送先中變更(七月十日 本欄参照)
軍艦五十鈴郵便物發送先中「宮城縣女川」ヲ「宮城縣塩釜」ニ變更ス

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○七月十一日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、加賀、金剛、八雲、五十鈴、長門

△峯風、澤風、矢風、沖風、△灘風、島風、夕風、沙風、△朝風、春風、松風、旗風、△楠、梅、△榊、松、杉、柏、桂、楓、磯波

△呂一〇、△呂二一、△呂五八、△呂五七、△呂二〇、△呂二二、△呂五九、△伊三、△伊二四、△伊二一、△伊二二、△伊二三

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五
富士、尻矢

浦賀 (嚴島)
(妙高)、(伊五九)

【下田】

△掃六

【大湊】

波風、野風
大泊

【大泊】

神風

【才心】

神威

【城察加】

沼風

【吳】

霧島、伊勢、阿武隈、那珂、平戸、扶桑、那智、韓崎、大井、自鷹、勝力

△江風、谷風、菊、葵、△海風、山風、檜、

榎、△濱風、天津風、時津風、磯風、△東雲、霧雲

△呂一、△呂五二、△呂五三、△呂五一、△呂二七、△呂二八、△呂二六、△呂一四、△呂一五、△呂一六、△呂一八、△呂一七、△呂一九、△呂五六、△呂五四、△呂五五、△伊五二、△伊五一

△掃七、△掃八、△掃九、△掃一〇、△掃一一、△掃一二、野島、劍崎、攝津、石廊、朝日、隱戸

△伊五七
(伊五七)

神戶
伊六一
(足柄)、(伊四)、(伊六二)

津田
羽黑

徳山
早鞆

佐伯
△鬼怒
薄雲、白雲、△望月、菊月、三日月、夕月

舞鶴
吾妻
△遊、△蓼、蓬
△呂二五

新舞鶴
天龍
(敷波)

寺泊
多摩

佐世保
若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、龍田、球磨、常磐、淀、熱海

△桐、櫻、橘、樺、△水無月、皁月、文月、

海軍公報 第七百四十五號

昭和四年七月十一日

七二一

【西戸崎】 室戸
 【馬公】 北上
 【鎮海】 榎、柿、栗、梅
 【旅順】 榎、梨、竹、樅
 【營口】 榎、桑
 【青島】 對馬、桃、堅田
 【上海】 勢多、嵯峨
 【南京】 榎、堅田
 【燕湖】 榎、羽
 【九江】 利根
 【漢口】 利根、浦風
 【長沙】 比良、隅田
 【沙市】 比良
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 保津

長月、口追風、疾風、朝風、夕風、
 口如月、睦月、彌生、卯月、櫻、柳
 呂二、呂三、口呂三、呂三、呂三、
 呂四、呂五、口呂六八、呂六三、呂六四、
 呂三〇、呂二九、呂三二、伊六三
 敷島、襟裳、知床、大和、高崎、鳴戸
 (伊六〇)

【香港】 宇治
 【ブラオ】 膠州
 【航海中】
 鶴見 (六月二十七日、ホノルル) 發 | 徳山 ()
 磐手、淺間 (一日横須賀發 | ホノルル) ()
 滿州 (四日、ブラオ) 發 | 横須賀 ()
 安宅 (七日漢口發 | 上海) ()
 洲崎 (七日徳山發 | 上海) ()
 矢矧 (八日上海發 | 漢口) ()
 佐多 (八日堪察加發 | 徳山) ()
 口陸奥、日向、山城、口由良、長良、名取、口神道、
 口込、口榛名、比叡、口衣笠、加古、古鷹、青葉、
 口長鯨、口赤城、鳳翔、口若竹、吳竹、早苗、早蕨、
 口萩、薄、藤、葛、口夕顔、朝顔、芙蓉、刈萱、口葦、
 菱、童、口初雪、白雪、深雪、吹雪、口太刀風、
 帆風、羽風、秋風、口呂六〇、呂六一、呂六二、
 呂六五、呂六六、呂六七、口伊二、伊一、口伊五五、
 伊五三、伊五四、口伊五六、伊五八、間宮、能登呂
 (十日有明灣發 | 佐世保) ()
 春日 (十日徳山發 | 横須賀) ()
 浦波 (十日吳發 | 横須賀) ()
 青島 (十日鎮南浦發 | 佐世保) ()

(部内限二頁)